

西日本豪雨災害ボランティア報告

埼玉県第1区総支部長（前衆議院議員）たけまさ公一

7月16日に岡山市入り。17日、18日と2日間、倉敷市ボランティアセンターから辻田地区の被災された一戸建ての土砂掻き出しの仕事を行いました。さいたま市議の小川さんと熊谷さんと3人で、立憲民主党岡山からの呼びかけに応じたものです。



高温の下での作業ゆえに、1日目は20分作業の15分休み、2日目は15分作業の15分休みでした。床下の土砂を掻き出し土嚢袋にまとめ石灰を撒いて失礼しましたが、膨大ながれき処理、信号機などの停電、住宅（仮設など）対策などまだ復旧・復興は緒に就いたばかりです。

立憲民主党豪雨災害対策本部としても物資支援、ボランティア派遣、原因究明、再発防止対応、政府自治体対応などを進めていきます。また、7月発生ゆえの経口補水液など必要な物資補給のためにも、裏面にある寄付金ご協力をお願い申し上げます。

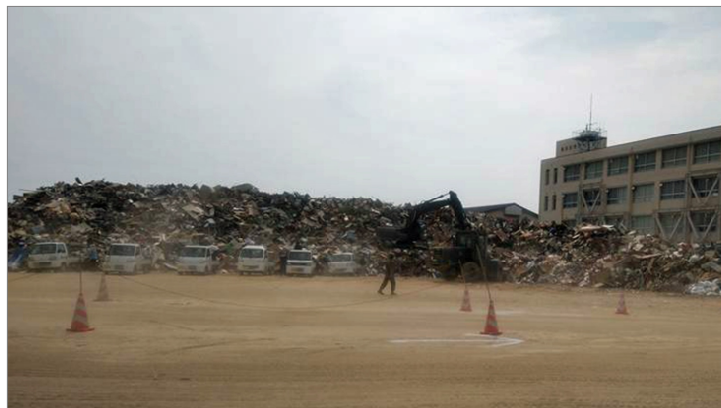
がれき処理を急ぐ

当初、倉敷市真備町ではがれきは家の前の道路歩道に積みあげました。その量たるや膨大なものでした。ちょうど、滞在中に、自衛隊ががれきを移動はじめました。



運ばれたがれきは真備東中学校のグラウンドに積み上げられましたが、分別はこれから、また、2学期前に次の保管場所への移動、もしくは他地域でのがれき受け入れなど課題は残ります。

また、体育館への冷房機の設置、段ボールベッドの活用などが見られました。段ボールベッドとは、段ボールで簡易ベッドを組み立て、体育館などの床に直接寝ることがなく、また、間仕切り



でプライバシーが保てるものです。間仕切りも一人用から家族用（4～5人）まで可能です。

再発防止に向けて

3年前の関東・東北豪雨及び洪水水害（常総市など鬼怒川の決壊）の原因であった「線状降水帯」が西日本各地で派生したもので、その発生メカニズムの検証が欠かせません。さらに、愛媛県肘川と岡山県小田川の決壊や避難遅れが、上流部のダム放水にあったとすると、そのメカニズムの検証並びに、ダム放水情報が届かなかったという検証も必要です。

既に指摘されているように、①避難準備情報 ②避難勧告 ③避難指示 の用語の見直しに加え、避難指示が夕方出されて、果たして夜間に対応可能かなど発出のタイミングも問われます。

西日本豪雨災害義援金 お願い

このたびの西日本豪雨により被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げます。立憲民主党では、一日も早い被災地域復興のため、全国にて義援金の募金活動を実施いたします。

お預かりした募金は、日本赤十字社に義援金としてお渡しします。

災害募金をして「寄付控除」（2,000円以上）をご希望される場合は、下記日本赤十字の口座に直接ご送金ください。送金した際の振込金受取書や郵便振替時の受領証をもって確定申告することになります。

日本赤十字社・平成30年7月豪雨災害義援金口座
ゆうちょ銀行口座記号番号：00130-8-635289
口座加入者名：日赤平成30年7月豪雨災害義援金

第185回 たけまさ公一と語る会

テーマ 災害対策

ハザードマップなどを中心に

2018年9月23日（日）

午後2時～4時

浦和パルコ10階

浦和コミセン第6集会室

参加費 無料

どなたでもご参加いただけます。



たけまさ公一のプロフィール

- 昭和36年（1961年）生まれ
- 木崎小・中学校／県立浦和高校
慶應義塾大学法学部政治学科卒
- （財）松下政経塾 前衆議院議員
- 元外務・財務副大臣
- 元衆議院憲法審査会会長代理
- 埼玉県合気道連盟会長
- 埼玉県ボウラーズ連盟会長
- さいたま市ラグビーフットボール連盟会長
- 浦和レッズ後援会理事

たけまさ公一の 主な活動地域 埼玉県第1区



たけまさ公一事務所

浦和区北浦和3-6-11 松本ビル2F

電話 048-832-3810

FAX 048-832-3846

メール voice@takemasa-k.jp



公式サイト
takemasa-k.jp



ツイッター
@takemasakoichi



facebook ページ
takemasa today



公式LINE@
たけまさ公一